

Koka TIMES

— 心を磨き、技を極め、夢に挑む。 —



自動車棟完成 AUTで進行中の宇宙工学

- 学生ショートムービー映画祭で審査員賞と努力賞
- キャンパストピックス ● 各センターからのお知らせ
- 平成 23 年度行事予定表(4 月～9 月)

編集／発行
愛知工科大学
愛知工科大学自動車短期大学
入試広報センター

〒443-0047
愛知県蒲郡市西迫町馬乗 50-2
TEL. 0533-68-1135
URL. <http://www.aut.ac.jp/>

自動車棟完成で設備拡充

1・2 階は 2 級自動車整備士、3・4 階は 1 級自動車整備士を養成

鉄筋コンクリート造り 5 階建て、延床面積 5100 ㎡の自動車棟が平成 22 年 12 月に完成しました。1、2 階は短期大学生が 2 級自動車整備士の資格取得を目指す実習場、3 階は工学部へ 3 年次編入学した学生が 1 級自動車整備士を目指す実習場、4 階は講義室、5 階には洗車場と実習車両の駐車スペースを設け、自動車整備の基礎から高度な整備技術までを一環して学べる実習棟となっています。



老朽化に伴い取り壊された
3 号館自動車実習場



完成した自動車実習棟

本学は、昭和 62 年 (1987 年) に愛知技術短期大学として開学し、3 号館自動車実習場で自動車整備士の養成教育をスタートしました。

その後、学生の増加に伴い平成 4 年に 5 号館自動車実習場を、さらに 1 級自動車整備士養成課程の設置に伴い、平成

16 年に 8 号館自動車実習場を増築し、進化し続ける自動車に対応した整備士の養成を行ってきました。

近年、3 号館自動車実習場の老朽化が目立ってきたため、3 号館自動車実習場を取り壊し、新しい自動車整備士養成教育に対応した自動車棟を建設しました。



1 階自動車検査ライン



4 輪トータルアライメントシステム



走行性能試験機



自動車専用エレベータ



1 階実習場



2 階実習場 新しく導入されたスイフト



2 階実習場 新しく導入されたデミオ

定礎式および開所式を実施

平成 22 年 11 月 25 日 (木) に自動車棟の永遠の堅牢と繁栄を祈願し、定礎式が行われました。



また、平成 23 年 1 月 21 日 (金) 電波学園理事長、大学関係者臨席のもと、自動車棟の開所式が挙行されました。式には、報道関係者、学生など約 150 名が列席しました。内田学長は、「この新しい施設を有効に活用し、社会に貢献できる人材育成に努めていきたい」と挨拶され、学生代表として工学部機械システム工学科 4 年生の中瀬佑哉さんが、「教授の先生方のアドバイスをしっかり受けとめ、仲間と力を合わせて勉学に励みます」と宣誓しました。

その後、テープカットが行われ、自動車棟の開所を祝いました。

(テープカットの写真：本誌表紙)

新しく完成した自動車棟は、自動車検査ラインや走行性能試験機、エンジン実習室、自動車専用エレベータ、リフト 40 基を完備。講義室のほか実習場内もエアコンが整備されています。

快適な学びの環境と、新しい実習車両、各種計測器、工具の導入で、より効率的で効果的な授業の展開を図り、即戦力となる自動車整備士を養成します。

宇宙システム研究所

AUTで進行中の宇宙工学



昨年 5 月 21 日 (金)、本学が所属する UNISEC (大学宇宙工学コンソーシアム) で開発・製作した深宇宙探査機「UNITEC-1 (愛称: しんえん)」が、JAXA (宇宙航空研究開発機構) の金星探査機「あかつき (PLANET-C)」に相乗りして、種子島宇宙センターから H-IIA ロケットで打ち上げられました。この「UNITEC-1」の構造システム、ロケットから打ち出される際に方向をコントロールするガイドポールの設計を本学の奥山研究室が担当しました。「UNITEC-1」はロケットから分離して金星に向かう軌道への投入に成功し、本学の担当ミッションは無事成功に終わりました。その後、本学ではさらに宇宙工学に関する研究が進んでいます。そこで、現在学生が参加して取り組んでいる 2 つの研究を紹介します。

惑星探査のための熱防御材の開発

周回衛星が地球に再突入するときは、秒速 8km という高速です。金星や火星、木星などを探査する宇宙機は、多くの場合秒速 11km に相当する運動エネルギーで地球を脱出します。人工衛星や探査機はとんでもない速度で宇宙を航行して



大気圏突入実験の様子

おり、これから宇宙機には膨大な運動エネルギーが蓄えられているのです。この宇宙機が地球や木星、タイタンといった大気を持った惑星や衛星に突入する際、凄まじい運動エネルギーが熱に変化するので、宇宙機は非常に大きな加熱を受けてしまいます。宇宙機の周囲を熱防御材で護らないと、あっという間に燃え尽きてしまいます。

現在、ロボットシステム工学科※の奥山研究室では、惑星を調査する探査機の熱防御材を開発中です。学生たちが開発した材料が惑星大気の入力環境に耐えることができるか、ドイツの国立宇宙研究所で加熱試験を行い確認します。

月面探査ローバモデルの開発

JAXA (宇宙航空研究開発機構) と研究委託契約を結んだロボットシステム工学科※の中谷研究室では、月面探査をめざしたローバモデルの開発を進めています。

月面クレータの中にそびえる 2000m 級の山に登ってサンプルを採取することが最終的なミッションです。その基礎研究として現在試作を進めているモデルは履帯に代えて弾性車輪を用いたものです。また、スカラ型と呼ばれる信頼性の高いアームを搭載しています。下の写真は試作途中のハードウェアモデルです。8 輪の前進・後進対称のロッカーボギー方式と呼ばれる走破能力の高いサスペンションを採用しています。



試作が進行中のローバモデル

※ 平成 23 年 4 月より電子制御・ロボット工学科に名称変更

中島守 教授
教育功労賞を受賞

永年にわたり、短期大学教育に尽力し、多大な功績を挙げたとして、愛知工科大学自動車短期大学 中島守教授 (自動車工業学科長) が文部科学大臣より短期大学教育功労賞を平成 22 年 10 月 22 日 (金) に受賞されました。

「第 6 回学生国際ショートムービー映画祭 in 関空」
審査員賞および努力賞を受賞

学生からのメッセージや感性を生かしたアイデアをショートムービーで表現して発信する「第 6 回学生ショートムービー映画祭 in 関空 (南大阪地域大学コンソーシアム主催)」が 11 月 27 日 (土) に行われ、映像サークル「映像研究会 メディアスタジオ」の伊藤大輝さんが審査員賞、小田基貴さんが努力賞を受賞しました。



写真左: 小田基貴さん 写真右: 伊藤大輝さん

「つながる」という映画祭のテーマを、それぞれ違った視点から制作した 2 作品は、10 月 16 日 (土)、17 日 (日) に行われた AUT 祭 (大学祭) で上映された後、映画祭に応募しました。

映画祭に応募があったのは 44 作品。11 月 19 日 (金) に 1 次審査で 16 作品に縛り込まれ、今回の受賞に至りました。

審査員賞「DIGITAL」 制作:伊藤大輝



努力賞「Revolution」 制作:小田基貴



<http://www.aut.ac.jp/news/2010/6in.html> から作品をご覧ください。

「蒲郡市青少年健全育成地域活動シンボルマーク」選考 最優秀賞、優秀賞を受賞

「蒲郡市青少年健全育成地域活動シンボルマーク」に応募した工学部・情報メディア学科 2 年 坂口豪志さんのデザインが最優秀賞に、堀川慎治さんのデザインが優秀賞に選ばれました。

このデザインは、情報メディア学科 2 年生向け授業「コンピュータデザイン論」で制作したものです。

応募作品は、力作が多数寄せられ、白熱した審査になったそうですが、2 点とも作品の獨創性、デザイン性が高く評価され受賞につながりました。

10 月 20 日 (水)、蒲郡市民文化会館中ホールにおいて、表彰式が行われました。

最優秀賞



情報メディア学科
2 年
坂口豪志さん

コンセプト
地域の人々の手で明るく青少年を守ろう！
水色は、蒲郡の美しい海
オレンジは、若さ明るさをイメージしています。

優秀賞



情報メディア学科
2 年
堀川慎治さん

コンセプト
オレンジは、若さと明るさ
ハートは、蒲郡地域の人々により
若者たちがあたたかく包まれていることを
イメージしています。



表彰を受ける坂口さん

表彰を受けた坂口さんは、「こんなに大勢の前で表彰を受けられたことを誇りに思います」とうれしそうな表情で受賞の喜びを語りました。

今後、このマークはスタッフジャンパーやパンフレットに印刷され、様々な面で使用される予定です。

CAMPUS TOPICS (平成 22 年 9 月～平成 23 年 3 月)

ビジネスマナー講座を開催

9 月 14 日 (火)、愛知工科大学自動車短期大学、2 年生を対象に「ビジネスマナー講座」を開催しました。

卒業を半年後に控え、社会人のマナーを考える機会として行われたもので、講師にはキャリアデザイン研究所主席研究員の三井裕美氏をお迎えしました。

社会や職場のルールをはじめ、コミュ



講義の様子

グループワークの様子

ニケーションツールの活用術や顧客との信頼関係をつくるポイントなど、グループワークやロールプレイングを通じて理解を深めました。

電気自動車の環境特性調査

工学部・機械システム工学科の矢野研究室 (環境工学) では、地球温暖化の元凶の一つと言われている自動車の CO₂ 排出量について、LCA (ライフサイクルアセスメント) という手法を用いて解析を行っています。

中でも、環境配慮型自動車の本命と目されている EV (電気自動車) に注目し、その実電費を測定するため、蒲郡市役所の協力を元に、三菱自動車製の電気自動車 (i-MiEV) を市中走行させ、ガソリン車との一次エネルギー比較を行いました。

ニュージーランド リトン高校の生徒が本学を見学

9 月 25 日 (土)、ニュージーランドのリトン高校の生徒が本学を見学しました。

今回の見学受け入れは、蒲郡国際交流協会が蒲郡港とギズボーン港 (ニュー

ジーランド) が姉妹港であることから、交流を深めようといわれたものです。

学校長、生徒、ホームステイ先の家族など総勢 40 名が、宇宙システム研究所、ITS 研究所、コンテンツ制作スタジオ、自動車実習場、各種研究室などを見学。ITS 研究所では、ドライビングシミュレータの体験も行いました。



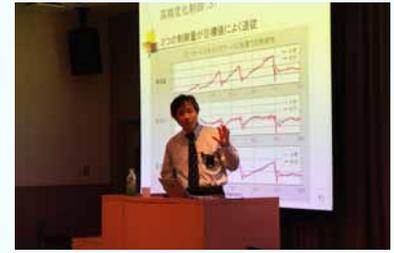
コンテンツ制作スタジオを見学する高校生

「今後のガソリンエンジンとその鍵となる制御技術」

日本機械学会東海学生会主催による講演会が 10 月 6 日 (水)、本学の A U T ホールで開催され、機械システム工学科 梶谷満信教授が「今後のガソリンエンジンとその鍵となる制御技術」について講演しました。

講義では、二酸化炭素低減の視点から、将来の自動車は電気自動車、水素自動車へ向かうと思われるが、短期的には現在多く使用されているガソリンエンジンの効率化が必須であることや、ガソリンエンジンの最新技術動向、制御技術について話をされました。

聴講する学生や市民も多く、環境技術への関心の高さが伺えました。



講演する梶谷教授

秋の茶会を楽しみました

10 月 8 日 (金) シュークリーム同好会主催で秋の茶会を開催しました。

裏千家淡交会から講師を招き、女子学生たちが普段見慣れない作法を学びました。

茶会は、誰でも参加自由のため、学生、教職員の枠を超え大勢の参加者で会場

が賑わいました。

礼儀作法の指導を受ける学生は、少し緊張した様子でしたが、お茶をいただいた参加者には、たいへん好評でした。



お茶をたてる学生

「低圧電気取扱者特別教育」で心肺蘇生法と A E D の実習を実施

今年度からはじまった自動車工業学科の O M S (ワン・モア・セミナー) 「低圧電気に関する特別教育」では、ハイブリッドカーの整備に必要な「低圧電気取扱者特別教育」について学びます。9 月 24 日 (金)、地元の蒲郡消防署のご協力をいただき、心肺蘇生法



心臓マッサージの指導を受ける学生

と A E D (自動体外式除細動器) の取扱い方法について実習を行いました。

説明を聞き、その後内定へと繋がった先輩もいました。

体験発表会の最後には、「筆記試験対策を早めにする」とや「資格を取ること」、「面接対策として普段から言葉遣いや人との触れ合いを意識すること」、さらに「小さい視野で仕事を探さない」など、先輩たちからの貴重なアドバイスがあり、就職活動を始める 3 年生たちは真剣にメモを取っていました。

企業講演会を開催

第一線で活躍する企業担当者の声をキャリア教育に反映するため、愛知工科大学自動車短期大学の 1 年生を対象に「企業講演会」を開催しました。

10 月 8 日 (金) 講師に本学の後援会長である名古屋ダイハツ(株)取締役 管理本部 副本部長の岸 計重氏を招き、「自分の人生を考える」と題して講演いただきました。

講演の最後に、会社や人から頼られる社員になってほしいと期待を込め、「学生時代の過ごし方が大切。自分の身につくことであれば、何事にも積極的に取り組み、自分の手でチャンスをつかんでほしい」とエールを送られました。



講演をされる
名古屋ダイハツ(株)
管理本部 副本部長
岸 計重 氏



また、11 月 5 日 (金) には名古屋ダイハツ(株)経営企画部 課長 杉浦正奈氏を招き、CS (顧客満足) の重要性について講演をいただきました。

就職内定者

体験発表会を開催

10 月 14 日 (木)、愛知工科大学工学部 3 年生を対象に「就職内定者 体験発表会」を開催しました。

先輩からの就職活動のアドバイスとして、4 年生 6 名 (東日本旅客鉄道(株)[JR 東日本]・玉野化成(株)・新生テクノス(株)・三恵(株)・上新電機(株)・浜名湖電装(株)それぞれに内定) に、この厳しい雇用情勢のなか就職活動をどのように乗り切り、内定を勝ち取ったかを座談会形式で語っていただきました。

先輩たちに就職活動への満足度を聞いてみると、6 名中 5 名が満足しており、早くから積極的に活動を始めたことが内定への近道になったようです。また、昨年 3 月に開催した学内企業説明会で

インターンシップ体験報告会

10 月 15 日 (金)、大学院 1 年生と工学部 3 年生による「インターンシップ体験報告会」を開催しました。インターンシップは夏休みを利用 (1 日～10 日間) として行い、今年度より工学部 3 年生の後期 1 単位として申請が可能になりました。

(単位条件: 事前研修+実習 10 日以上+事後報告)
インターンシップに参加した学生からは、「就職活動を前に会社の良い面などを再度確認することができた。」「アルバイトとの違いが分かった。」「実際の仕事体験ができ、大変勉強になった。」といった報告があり、とても満足した様子が見られました。

第 11 回 AUT 祭 (大学祭)

10 月 16 日 (土)、17 日 (日) に開催された大学祭には、多くの市民の方が訪れました。

本年度は、学生が企画した「赤い電車で行く！クリーンウォーク」を同時に開催し、120 名が名鉄西浦駅から本学まで、蒲郡の名所を見学しながら街の清掃活動を行いました。

メインステージのライブ会場では、髭男爵によるお笑いライブなどが行われ、たいへん盛況な大学祭になりました。



姉妹校協定締結校 韓国 龍仁松潭大学を訪問

10 月 18 日 (月)、工学系の教育及び研究分野の交流で姉妹校協定を締結している、韓国の龍仁松潭大学 (ヨンインソンドム大学) に内田学長と教員の一行が訪問。内田学長が記念講演を行い、ヨニ

ンソンドム大学 自動車科 1 年、2 年の 100 名を超える学生が熱心に聴講しました。

記念講演終了後、高田自動車工業学科長補佐が愛知工科大学自動車短期大学の説明をし、フォーミュラカー20 プロジェクトや、カート実習の様子を動画で紹介すると、歓声が起こるほど強い関心が示されました。

三重県立桑名高等学校の 2 年生 本学でロボット製作の体験授業

11 月 9 日 (火)、桑名高等学校 理数科 2 年生 39 名が来学し、体験授業を行いました。午前は「ロボット概論～ロボットとは？～」の講義とキャンパス見学。午後は「レゴマインドストーム組み立て・操作」の実習を行いました。

キャンパス見学では、宇宙探査機を製作する研究室やロボットの研究室など、ものづくりを真剣に取り組む学生たちの研究室を見学。ITS 研究所では、ドライビングシミュレータによるリアルな自動車運転、コンテンツ制作スタジオではブルーバックスクリーンを使って、合成画面による空中遊泳などを楽しみました。レゴマインドストーム組み立て・操作実習では、ロボットの組み立てからプログラミングを体験。思い思いの動きや音を出すロボット製作に挑戦しました。

「遠州横須賀街道ちっちゃな文化展」 杉森順子准教授が映像作品を出品

「遠州横須賀街道ちっちゃな文化展」は、町の街道を美術館にみたくて、アーティストひとり一軒の住宅を自由な創作活動の展示場として提供し、その空間にふさわしい作品を展示していくという美術展です。

会場となる旧大須賀町 (現掛川市) は、江戸時代三万五千石の城下町として栄えた町です。しかし鉄道の路線からはずれていたため、次第に廃れ、町中の店舗が次々と閉店し、住民の流出が止まりませんでした。こうした状況に、この町を守ろうと町の有志が立ち上がり、「遠州横須賀街道ちっちゃな文化展」が開かれました。

現在では、町とアートが一体化して楽しめる、中部を代表するアートフェスタとして人々に知られています。

杉森准教授の作品は、若者の影が抜け出して、障子スクリーンの中を自由に飛び回る映像インスタレーションです。

作品には、工学部 情報メディア学科の藤本さん (4 年) と坂口さん (2 年) が出演しました。

幼児からお年寄りまで 4000 人以上の人々がコミカルな映像を楽しみました。



杉森准教授の作品 文化展に訪れた市民

愛知産業大学三河高等学校の生徒が見学

11 月 5 日 (金)、愛知産業大学三河高等学校の 2 年生 39 名が見学に訪れました。

見学した生徒の皆さんからは、「宇宙探査機の開発に携った大学と知って驚いた」、「ドライビングシミュレー

タでのバーチャル運転がとても面白かった」、「早く自動車の実習がやってみたい」などの感想が聞かれました。

キャンパスを見学した高校生たちは、設備や施設の規模、学びのスケールなど、大学と高等学校の違いを実感し、進学に対してとても興味を持っていただいたようです。



自動車実習場を見学する高校生

高等学校からの体験授業相談窓口
入試広報センター 0533-68-1135

DENSO 夢卵 2010

ソーラーカーを展示・デモ走行

11月13日(土)、14日(日)、デンソー刈谷本社工場で開催された「DENSO 夢卵 2010」に紺谷研究室とソーラーカー部が出展しました。

「DENSO 夢卵」は、株式会社デンソーが主催するアイデアコンテストが中心のイベントで、今年は10周年記念として大々的に開催されました。

日頃、本学のソーラーカー製作の部品



製作にご協力いただいている、デンソー協力会社の㈱丸和機械から依頼を受けて出展。「乗り物コーナー」での展示とデモ走行を行いました。

いよいよ就職活動がスタート 卒業生との座談会と学内企業説明会

11月26日(金)、愛知工科大学自動車短期大学1年生は、卒業生との座談会と学内企業説明会を開催しました。

座談会には、愛知日野自動車㈱、愛知トヨタ自動車㈱、浜松日産自動車㈱、㈱スズキ自販中部、中部三菱自動車販売㈱で働く卒業生たちが駆けつけ、これから就職活動を迎える後輩たちに、入社を決め手となったきっかけや現在の仕事について話がありました。

就職活動に不安を抱える後輩たちに「人間関係を重んじること」や「率先して行動し、多くの経験を増やすこと」、「悩みや挫折観を持ったときの乗り越え方」などをアドバイスいただきました。

同日午後には、本学体育館において、後援会「愛技会」会員89社の参加による学内企業説明会を開催しました。昨年来を上回る多くの会員企業にご参加いただき、会場は学生の熱気に包まれました。

積極的に真剣な眼差しで相談を受ける学生に、採用担当者も忙しく対応に追われていました。



座談会



体育館での企業説明会

第11回AUT文化後援会 「スノースポーツが明かすターンの秘密」

12月3日(金)本学AUTホールにおいて第11回AUT文化講演会「スノースポーツロボットが明かすターンの秘密」について、福井大学教育地域科学部教授 清水史郎氏を招き講演いただきました。

清水教授が研究をされているスノースポーツロボットを動かしながら、「カービングの原理からプロスキーヤーのターン技術への指導」について講演され、研究を通して世界のスキー教育へ広く貢献された内容についても紹介されました。

「あいROBO応援キャラバン」で 飛行型小型ロボットを紹介

12月4日(土)「あいROBO応援キャラバン」が中部国際空港セントレアで開催され、本学のロボットシステム工学科※の教授らが上空からデータを収集する飛行型小型ロボットのデモンストレーションを行いました。

近代的な空港のセンターピアガーデンで飛行するロボットからの映像を地上のモニターに映し出しました。

来場者の注目度も高く、このイベントの様子は中京テレビでも紹介されました。

※ 平成23年4月より電子制御・ロボット工学科に名称変更

特別企画講義

「陶磁器産業とアート・デザイン」

陶磁器工芸の世界の「これまでの歩みとこれからの未来について」の特別企画講義を㈱幸兵衛窯 社長 加藤幸兵衛氏をお招きし、陶芸作家、陶磁器産業の経営の立場からみた、クリエイティブなアート・デザイン制作のあり方、伝統的また斬新な発想の進め方について講義をしていただきました。

情報メディア学科のデザインに興味がある学生のほか、一般市民も参加し、熱心に話を聞く姿が見られました。



受講者の中には一般市民の姿も

ラグーナ蒲郡「LAGUNART」 幻想的シーサイドイルミネーション

大学院生を含む学生有志の集まりで、ラグーナ蒲郡の「LAGUNART(ラグナート)幻想的シーサイドイルミネーション」に出展しました。

イルミネーションは、花をモチーフに製作され、見に来てくださる方々の心をほっと(hot)させるようなイルミネーションにしたことから、「Lovely & Hot」と名付けました。

イルミネーションには、ボタンを押すと驚きの変化が起こる工夫がされており、ボタンを押した来場者は、美しく変化するイルミネーションに癒されていました。



ボタンを押すと青や緑に変化するイルミネーション

研究室訪問

— 情報メディア学科 杉森研究室 —

〔ようこそ杉森研究室へ〕

杉森研究室(映像制作実験室)は、工学部の中では、ちょっと異なる研究室です。ビデオや動画といった映像作品の制作やテクノロジーと映像や立体造形を組み合わせたメディアアートという新しい表現のアート作品を創作しています。

〔工学部にアート?!〕

なぜ工学部にアーティストがいるの?と不思議に思う方も多いと思います。現代美術の中に、テクノロジーやデジタル技法を使いアート作品を創るメディアアートという新しい美術の分野があります。新たな表現を模索するアーティストのニーズと工学が融合し、これまでにないスタイルの芸術作品が次々と生まれています。文化庁も、日本の芸術文化振興の一環として、10年ほど前からメディア芸術祭という展覧会を主催するなどして、その支援に力を入れています。

〔これまでの仕事〕

大学に来る以前は、番組オープニングCGタイトルや番組、ビデオ映像の制作をしていました。

制作デビューした作品は、TBSテレビの「ことばのプリズム」という子供向けの短い科学番組で、CGを担当しました。余談ですが女優の安達祐実さんもこの番組がデビュー作品だそうです。当時7~8歳ぐらいだったと思いますが、子供ながらもそのプロ意識の高さにスタッフが舌を巻いていたのを覚えています。

その後、テレビのニュース報道番組、情報番組、ビデオコンテンツなど100タイトル以上の様々な映像制作のディレクターとして映像に関わる仕事をしました。

最後の作品は、静岡市立治水交流資料館「かわなび」の映像制作担当プロデューサーです。ここは、静岡市内の小学生が一度は見学に来る教育文化施設です。5台のプロジェクター映像を使って、七夕豪雨の洪水の記録や川の治水の重要性を分かり易く解説しています。

映像制作は、企画、構成、撮影、編集と試行錯誤しながら長い時間を掛けて作り上げる非常に根気のいる仕事です。どうしたらより良い作品になるか常に考え、作品によっては、わずか15分の映像でも数年間掛けて制作する事もあります。しかし、完成し放送や上映されるとそうした苦労が一気に吹き飛ばすほど、達成感や充実感を得られる事も映像制作の魅力です。



ことばのプリズム (TBS)



静岡市立治水交流資料館「かわなび」



Profile

杉森順子
准教授・アーティスト

〔専門〕 映像
メディアアート

〔経歴〕 TDKコア
静岡放送
ユニットプロダクション



〔なぜ大学へ来たのか〕

CG、テレビ、ビデオ、展示施設などとアウトプットメディアやCGから実写映像へと表現・技法は変わっていますが、その中心が映像であることは変わっていません。常に映像で何が表現出来るかという点にこだわりながら制作してきました。また、ディレクターとしての仕事の傍ら自分自身の映像作品を創り始め、仕事、アート、大学の非常勤講師と2足のわらじならぬ3足のわらじを履くことになりました。非常に忙しい日々を過ごすうち、もっと映像を使ったアート作品を創りたいという思いが次第に強くなり、テクノロジーの宝庫である工科大学に移る事にしました。

〔研究・作品/チューブアート〕

大学では、アルミフレックスチューブに映像を投影するメディアアート作品などを制作しています。昨年11月に初の個展「LINK展」を行いました。

この作品は同じ学科の小沢慎治教授と共同研究として、アルミチューブだけに映像が投影出来るプログラムを開発して頂いています。この共同研究を通じて、アートと工学は文化も考え方もアプローチも「全く異なる」という事を初めて知りました。工学、アートそれぞれ異なる視点から見ると、初めて気づく面、勉強になる事も多く、とても刺激的で日々新たな発見の連続です。

クリエイティブ(創作)とは、新しいものを創りだすとともに、既存の物に新たな価値を見出す事でもあると思います。本学の中にもアートと融合する事で、新しい価値が生まれる未知の研究があるのではと期待しています。これからもこうした視点で、工学部の様々な研究に触れて行きたいと考えています。



LINK展-映像インスタレーション-

映像には、この様に様々な可能性と魅力に満ちています。映像やメディアアートの制作を通じ、何かを創り上げる「面白さ」「楽しさ」を一緒に共有しませんか。映像やアート、電子工作、デジタルコンテンツなど何でも創ることに興味のある方は、大歓迎です。いつでも気軽に杉森研究室に遊びに来てくださいね。

<http://www1.aut.ac.jp/~sugimori/>

平成 23 年度(前期) 行事予定表

※学内における諸事情により、予定を変更することがあります。

短大

行事		日程
4月	入学式	2日(土)
	オリエンテーション	4日(月)、5日(火)
	2年 就職活動調査②	4日(月)
	健康診断・献血	4日(月)、5日(火)
	学修奨学金授与式	22日(金)
5月	短期大学 創立 25 周年及び自動車棟完成記念行事	28日(土)
6月	2年 就職活動調査③	3日(金)
	オープンキャンパス	18日(土)
7月	1年 就職ガイダンス①	1日(金)
	教育懇談会(富山・高山)	2日(土)
	教育懇談会(長浜)	3日(日)
	教育懇談会(石垣・宮古・尾鷲・金沢)	9日(土)
	教育懇談会(那覇・福井)	10日(日)
	メーカー講演会	12日(火)～14日(木)
	オープンキャンパス	16日(土)
	教育懇談会(長野)	16日(土)
	教育懇談会(静岡・飯田)	17日(日)
	教育懇談会(浜松・松本)	18日(祝・月)
1年 定期試験	22日(金)～28日(木)	
2年 定期試験	25日(月)～29日(金)	
8月	1年 選択科目履修登録	2日(火)
	2年 選択科目履修登録	3日(水)
	オープンキャンパス	6日(土)、7日(日)
	学生夏期休業	10日(水)～
	オープンキャンパス	27日(土)
9月	2年 オリエンテーション	7日(水)
	2年 ビジネスマナー講演会	7日(水)
	オープンキャンパス	17日(土)
	1年 オリエンテーション	26日(月)

大学

行事		日程
4月	入学式	2日(土)
	オリエンテーション	4日(月)、5日(火)
	4年 就職活動調査①	4日(月)
	履修登録	4日(月)、5日(火)
	健康診断・献血	4日(月)、5日(火)
	4年 就職個人面接	12日(火)～22日(金)
	学修奨学金授与式	22日(金)
5月		
6月	4年 就職活動調査②	3日(金)
	第1期 編入学試験	11日(土)
	オープンキャンパス	18日(土)
7月	教育懇談会(富山・高山)	2日(土)
	教育懇談会(長浜)	3日(日)
	教育懇談会(石垣・宮古・尾鷲・金沢)	9日(土)
	教育懇談会(那覇・福井)	10日(日)
	オープンキャンパス	16日(土)
	教育懇談会(静岡・長野)	16日(土)
	教育懇談会(浜松・飯田)	17日(日)
	教育懇談会(松本)	18日(祝・月)
定期試験	29日(金)～	
8月	定期試験	～8月5日(金)
	オープンキャンパス	6日(土)、7日(日)
	学生夏期休業	10日(水)～
	オープンキャンパス	27日(土)
3年次編入学生特別授業	23日(火)～	
3年次編入学生特別授業	～2日(金)	
9月	オリエンテーション	8日(木)
	履修登録	6日(火)
	オープンキャンパス	17日(土)

大学院

行事		日程
4月	入学式	2日(土)
	オリエンテーション	2日(土)～5日(火)
9月	オリエンテーション	8日(木)

INFORMATION

お知らせ

学務課

○教育懇談会

教育懇談会は、本学と保護者との連携のもとに相互理解を深め、学生への指導に役立てるため実施しています。

本年度は、7月3日(土)～19日(月)の間に富山、長浜、長野、松本、尾鷲、飯田、金沢、沼津、福井、静岡、浜松の11都市で、10月12日(火)～22日(金)の間に本学を会場に実施しました。大学院、大学、短期大学併せて492名の保護者が出席されました。

平成23年度も本学をはじめ各都市で教育懇談会を開催いたします。大学生活、学業成績、就職状況のことなど懇談できる機会となっております。より多くの方のご参加をお待ちしております。

○卒業証書・学位記授与式

大学院は『第2回学位記授与式』、大学および短期大学は第8回、第23回『卒業証書・学位記授与式』となりました。大学院の工学研究科博士後期課程システム工学専攻においては、初の修了者に対して『博士(工学)』の学位の第1号が授与されました。

○ご意見・ご提案箱

学生の意見や要望を聴くため『ご意見・ご提案箱』を学務課、図書館、学生食堂、学生相談室に設置し、改善活動に取り組んでいます。

本年度のご意見・ご提案は14件ありました。すべてのご意見・ご提案に対して、関係部署に依頼し、対応できるものについては即対応したり、時間がかかるものについては、年度計画で進めたりしています。中には対応が困難なものもありますが、誠意をもって回答しています。今後ともみなさんのご意見・ご提案をお寄せください。

○建物内完全禁煙の実施

健康増進法により、学校等、多数の者が利用する施設では、受動喫煙防止の措置が義務付けられています。本学でも受動喫煙防止のため、段階的に『分煙』を実施してきました。平成23年度からは、建物内完全禁煙の実施により、非喫煙者の受動喫煙防止に努めていきます。喫煙者は、屋外の指定喫煙場所での喫煙となります。快適なキャンパス環境向上のため、タバコを吸わない人への思いやりと優しさをもった喫煙を心掛けるとともに吸い過ぎに注意してください。

○構内における車両通行規制

新棟(自動車棟)の完成に併せて正門から2号館前につながる通路は、平成23年度より全日、構内歩行者の安全確保のため、車両通行止め区間とします。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

事務局

○学旗掲揚ポールを新たに設置

ホール棟前の広場に学旗掲揚ポールが新たに設置されました。中央に12m、左右に各11mのポールが3本設置され、様々な行事開催時には国旗や学旗が掲揚されます。これは、平成21年度の卒業記念事業として整備されたものです。このポール設置にあわせて本学大学・短期大学のロゴマークをデザインした旗や学園創立60周年を記念した学園旗も製作されました。



ホール棟前に設置された学旗掲揚ポール

○屋外ソーラー灯を整備

昨年度から整備している屋外ソーラー灯の設置。今年度は新たに4基が設置されました。これも卒業記念事業として卒業生から寄贈されたもの。太陽光をエネルギー源とするソーラー灯は、非常時にも停電の心配はなくクリーンな発電により、夜間のキャンパス内を明るく照らします。

○Web学費サポートプランをスタート

授業料などの学納金をWebからの申込みにより、提携会社から短期間で融資を受けられる制度をスタートしました。申込み手続きや返済方法等、詳細は本学ホームページでご確認ください。なお、ご利用には提携会社の審査が必要となります。

23年度 教育懇談会開催予定

地区	開催都市	日程	地区	開催都市	日程
甲信越 北陸	富山県 富山市	7月2日(土)	東海	静岡県 静岡市	7月17日(日)
	石川県 金沢市	7月9日(土)		静岡県 浜松市	7月18日(月)
	福井県 福井市	7月10日(日)		沖縄	沖縄県 石垣市
	長野県 長野市	7月16日(土)	沖縄県 宮古島市		7月9日(土)
	長野県 松本市	7月18日(月祝)	沖縄県 那覇市		7月10日(日)
	長野県 飯田市	7月17日(日)	本学	愛知県 蒲郡市	10月11日(火)
近畿	滋賀県 長浜市	7月3日(日))
東海	岐阜県 高山市	7月2日(土)			10月21日(金)
	三重県 尾鷲市	7月9日(土)			

キャリアセンター

～ 資格試験合格者にインタビュー ～

キャリアセンターでは、自己のスキルアップを図り、資格取得を目指す方にキャリア支援講座(試験対策講座)を開講しています。

— 合格者(取得資格) —

☆応用情報技術者

情報システム学科3年 山口 薫さん

☆CAD利用技術者試験1級(機械)

機械システム工学科3年 鈴木 綾さん

☆TOEIC700点

情報システム工学科※2年 河口宗徳さん

※平成23年4月、電子制御・ロボット工学科に名称変更

このたび資格取得に積極的にチャレンジし、栄冠を掴んだ工学部3名にインタビューしました。

— 受験のきっかけは？

山口 応用情報技術者試験はIT業界で必要とされる基本情報技術者試験の上位資格で、情報システム全般に高度な知識が問われる国家資格です。就職が厳しいので、基本情報では勝ち抜けないと思い応用情報に挑戦しました。

鈴木 CAD利用技術者試験はCAD操作の技能や知識を評価するための認定試験です。受験のきっかけはスキルアップと将来、設計開発の仕事を希望しているからです。

河口 TOEICは英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。私は小学校3年からアメリカで6年間生活していたので実力を試したかったのと、勉強の成果を把握するためです。

— 合格の秘訣は？

山口 1年生のときに基本情報技術者試験講座(受講修了者は午前試験免除)を受講し、2年生で基本情報に合格。さらに3年生で応用情報に合格することができました。着実にステップアップできたのは、毎日の授業と講座を真剣に取り組んだ結果だと思います。

鈴木 私も大学の講座がすごく役立ったのと、片道90分の通学時間を利用して、過去問題といつもにらめっこしていたことが力になりました。

河口 文法は苦手ですが、海外生活で培った得意のリスニングで高い得点が取れたことが良かったと思います。

— 今後の目標や夢は？

山口 CCNAやネットワークスペシャリストにチャレンジし、その資格を活かしたネットワークエンジニアかソフトウェア開発の仕事に就きたいと考えています。

鈴木 さらに幅広い分野で活用できる3DCADを取得するのが目標です。

河口 もっともっと上を目指し、将来は技術者として英語を活かせる仕事がしたいと思っています。

— 最後に合格のためのアドバイス

山口 まずは基本情報の合格を目指し、過去問題を多くこなすのと配点の高い問題から解くのも作戦の一つです。

鈴木 大学の講座を受講するのが合格への近道です。受講料も大変安いです。

河口 リスニングの力を養うなら英語圏への旅行です。今は円高でお値打ちですし、何より発音が全く違います。

— これからの活躍に期待します。



左から山口さん、鈴木さん、河口さん

ものづくり工作センター

「研究からホビーまで“ものづくり”を支援」を合言葉に、本学における卒業研究・部活の支援と、広く地域社会に開かれた「ものづくり工作センター」を目指し、活動を展開してきました。

10月のAUT祭では、FRC同好会の参加行事として、名鉄蒲郡線の電車模型走行デモおよび綿菓子のバザー参加を支援しました。

また、地域貢献および産学連携活動と

して、10月から11月にかけて、蒲郡市商工会議所と共催で、地元企業の社員を対象に「機械加工技術講習会」を計5回実施しました。

同じく地域貢献活動として、9月および11月の日曜日に、蒲郡市商工会主催の「ごりやく市」会場に於いて、FRC同好会学生による日用品故障診断活動の支援を行いました。

その他、日常活動として卒業研究および部活のための機械加工および電子回路製作の支援、並びに「ものづくり」全

般についての相談およびアドバイスを行ってきました。

平成23年度の活動計画として以下を予定しています。

- ・蒲郡商工会議所にて「機械加工技術」の出張講座。
 - ・大学祭における「3次元ものづくり体験」支援
 - ・蒲郡市「ごりやく市」への出展支援。
 - ・幸田町「凧揚げ大会」への参加支援。
 - ・光学機器により天体追尾装置製作への挑戦。
- 当センタースタッフ一同、皆さんのご利用をお待ちしています！！

図書館

○新規受入図書のご案内

約750冊の図書を購入了ました。理工学関係の図書だけでなくリクエストにより、ライトノベルズや、ベストセラー小説なども入りました。どうぞご利用下さい。

○ブルーレイ/DVD再生機の設置

視聴覚コーナーにブルーレイ・DVDの再生機を設置しました。また映画等の映

像資料を45点購入了ました。

○幸田町立図書館との相互協力協定を平成22年3月1日に締結

蒲郡市立図書館に続き、幸田町立図書館とも相互協力協定を締結。利用サービスの充実を図っていきます。

○平成22年度AUT文化講演会

下記の日程とテーマで開催しました。

第8回 4月27日

『トヨタの環境・エネルギー戦略と燃

料電池自動車の現状と展望』

第9回 6月23日

『深溝松平家墓所発掘調査』

第10回 10月16日

『指紋と犯罪捜査』

『宇宙基地へ、月へ、そして宇宙へ！～人類のフロンティアの拡大』

第11回 12月3日

『スノースポーツロボットが明かすターンの秘密』

メディア基盤センター

メディア基盤センターヘルプデスクでは、キャンパス内でのパソコンやネットワークの運用を総合的にサポートしています。操作方法や設定方法、トラブル対処法、Windows OS のアップグレードなど、お気軽にご相談ください。

○パソコンの修理・ネットワーク接続

大学幹線ノートパソコンの修理受付、持ち込みパソコンのキャンパスネットワークへの接続申請もヘルプデスクで受け付けています。

○学内のネットワーク速度が向上

新しく自動車棟のネットワークが整備されたと共に、既設各棟の L2 スイッチ更新が完了し、学内ネットワークの末端速度が 1 Gbps へと向上しました。

○講演会を開催しました

11 月 19 日 (金) 午後、経済産業省中部経済産業局の支援事業としてデザイン系学生向け知財セミナーが開かれ、講師として幸兵衛窯社長の加藤幸兵衛氏が「陶磁器産業とアート・デザイン」のテーマで講演されました。

基礎教育センター

大学に入学して最初の頃は戸惑うことが沢山ありますね。本学では「大学入門」という科目の中で、まずは大学での生活に馴染むことから始め、友達との繋がりを作ってもらうようにしています。自然に大学生活に溶け込んで行けるものと思います。

しかし、まだ心配の種が。それは『大学での勉学について行けるかな』ということではないでしょうか。そうしたことの無いように基礎科目において、授業形態の工夫をしっかりと行っています。それでもなお、高校では履修してこなかった科目、どうしても苦手意識があって十分に理解できなかった科目が心配ですね。『大学の講義は、高校での知識があることを前提にしているようで、取り残されそう』という思いの学生が少なからずいるものと推測されます。

これらのことは心配無用。センターでは寺子屋方式で家庭教師のように数学、物理学、英語などの基礎科目や、場合によっては専門科目も一人ひとりの学びの

レベルに応じて丁寧に学習指導をしています。中学や高校のレベルにまで遡って指導しますので、学習の消化不良を起こすようなことはありません。一人でもグループでも遠慮なく何時でも気軽に訪ねてください。センターには教員が常駐しています。勿論、もっと授業内容を勉強して理解を深めたいという積極的な訪問者も大歓迎です。

前期には、1 年生を対象にして、日々の生活に密着した「生活数学」の特別講義や、3 年次編入学生を対象にして「微分積分」の特別講義を課外に実施することを予定しています。これによって、生活の道具として数学を活用することや、専門科目の理解を容易にし、より深めることができるようになることを期待しています。



地域・産学連携センター

○平成 22 年度後期の事業報告

本年度後期も多数の地域・産学連携事業を行ってきました。

9 月 蒲郡少年少女発明クラブ (本学にて)、S P P 塩津中学校 (ロボット関係講義)、宇宙の学校ロボット教室 (本学にて)、地域親子ふれあい活動 (刈谷市富士松北小学校にて)

10 月 マイコン制御の基礎 I、II (本学にて、岡崎商工会議所主催)、蒲郡少年少女発明クラブ (本学にて)、平成 22 年度「ものづくり基盤技術講座：金属材料学」(岡崎商工会議所主催)、S P P 塩津中学校 (ロボット関係講義)、ロボットあそびクラブ (愛知学泉大学付属桜幼稚園)

11 月 蒲郡少年少女発明クラブ (本学にて)、デンソー夢卵へのソーラー

カー出展 (デンソー刈谷本社工場にて)、蒲郡市“ごりやく市”出展 (蒲郡市中央通)、ロボットあそびクラブ (愛知学泉大学付属桜幼稚園)、くらふとフェア蒲郡 2010 出展 (海陽多目的広場にて)、ロボカップジュニア講座 (本学にて)、蒲郡少年少女発明クラブ (本学にて)、なぜ?なぜ?プロジェクト (あすて本館サロンにて)

12 月 蒲郡少年少女発明クラブ (本学にて)、S P P 塩津中学校 (ロボット関係講義)、ロボットあそびクラブ (愛知学泉大学付属桜幼稚園)、講演「未来に向かって～エコ体験しよう」(蒲郡南部小学校にて)、ロボカップジュニア講座 (本学にて)

1 月 平成 22 年度「ものづくり基盤技術講座：材料・塑性力学」(岡崎商工会議所主催)；その内容は主として金属材料の塑性変形のメカニズムを学び、金属材料の加工技術を見直す。これを基

礎にして新しい加工法を追求するために役立つ。

2 月、3 月も同様に地域連携活動が行われ、次年度 (平成 23 年度) は検討中です。

これら地域に対する教育・講演活動に加えて、地域産業からの科学技術相談や共同研究の推進などを行っています (詳細は守秘義務もあり省略させていただきます)。また、企業を対象とした若手・中堅研究者の再教育 (出前授業形式を含む) など実施しております。ご要望など、お気軽にお問い合わせください。ご相談は無料です。

**** 地域・産学連携センター ****

センター長：徳田正孝

副センター長：橋本孝明

電話：0533-68-1135

E-mail: tokuda@aut.ac.jp